

第一種

秘

竹嶋

群 1
1111

780
冊の内

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

りやんふ島領土編入并々頁下頁

隠岐列島、西北八十五哩朝鮮鬱陵島、東南五十五哩、
 絶海、冷りやんこ、弥る無人島有、其周圍各約十五町
 有る、甲乙二個、岩島中央、対立して一、海峡ヲ成し大小
 數千ノ岩礁點々散布して之ヲ圍繞セリ中央ノ二島ハ四面
 新岩絶壁ニシテ高ク屹立セリ其頂上ニ僅カニ玉壤ヲ冠リ雜草
 之、生ズルノ、全島一、樹木ナシ海峡曲ノ、砂礫ヲ以テ生々瀆
 シ成セトモ、屋舎ヲモ措エ得キ河新、甲ノ海峡ニ面する局部僅
 一二回旭アル、甲ノ頂上四折、瀧水アリ茶褐色ヲ帯ブ乙ハ
 嶽ニ塩分ヲ含ミタル清冽ノ水新岸ヲ涓滴候、船泊、海峡ヲ
 中心トシ、風立、吹リ左右ニ避テ、碇泊ス、安全ヲ保シテ矣
 本島ハ本邦ヨリ、隠岐列島及ビ鬱陵島ヲ經テ朝鮮、江
 原咸鏡地方ニ往復ス、私、白、阮、踏、當、与、君、本島ヲ經

ヲ設見シ得ルヲラント相期シ要スルニ本島ノ経営ハ資本ヲ充
實ニシ設備ヲ完全ニシテ海驢ヲ獵獲スル上ニ於テ前途
頗ル有望ニ御座ル

然レモ本島ノ領土所屬定マラズレテ他日外國ノ故障ニ
遭遇スル者不測ノコトアルモ確乎タル保護ヲ受クルニ由ナキヲ

以テ本島ノ経営ニ資力ヲ傾注スルハ尤モ危険ノ下瀬産
矣又本島ノ海驢ハ常ニ棲息スルニアラズ毎年生殖

ノ為ノ其季竹即チ四五月(年、換リ)未集シ生殖ヲ終リテ七
八月離散スルモノ也適テ其獵獲ハ其期間内ニ於テ行

ハ得ラレヌ故ニ特ニ獵獲ヲ適度ニ制度シ蕃殖ヲ適當ニ保
護スルニアラズバ勿レチ駆逐殄滅シ去ルヲ免レズ而シテ保護

者ノ下ニ競争ノ間ニ到底実行シ得ラザルモノナル人ノ利ニ
趣クハ犧ノ甘ミ附クガ如ク世人苟モ本島海驢獵ノ有利ナ

ルヲ窺知セバ當初私儀ヲ嘲笑シタルモノモ并ニ起テ大ニ競
争シテ獵獲ヲ逞フニ直ニ利源ヲ滅絶シ盡シテ結局共ニ倒

ルニ至ルハ必然ニ御座矣要スルニ前途有望ニシテ且ツ必要
本島ノ経営モ惜ムラリハ領土所屬ノ定リ居ラザルト海驢獵業

ニ必ズ競争ノ生スベキトニ於テ大ナル危険アリ終ッ全ッ難
ク矣

私儀ハ前陳ノ如ク従来種々苦心ノ結果本島ノ海驢獵業
略見込相立チタレバ今ヤ進テ更ニ資本ヲ増シテ一面ニ獵獲

スヘキ大ニ數者ヲ制限スル一此及ビ乳兒ヲ特ニ保護シ馬ノスル
島内適當ノ個知ニ禁獵場ヲ設クルニ害敵タル鯨鯨類ヲ捕

獲駆逐スルニ等種々適切ノ保護ヲ加エ一面ニ獵獲製造ニ
関スル種々精巧ノ機械ヲ備エ工裝置ヲ設クル等設備ヲ完全

ニシ傍ニ漁具ヲ備エテ他ノ水族漁撈ヲモ試ムル者大ニ經營
ス

嘗スルモノアリテ人之常任スルに至ラバ其昔、公、伯カ寄泊シテ薪
水食料一尋萬一、欠乏ヲ補ヒ得ル者種々、便宜ヲ生ズヘケレハ
今日駁々手トシテ盛運ニ白ヒフ、アル所、本邦ノ江原成鏡地
方ニ対スル漢業貿易ヲ補益スル所、少ナカラズシテ本島ノ経営、
前途尤モ必要ニ被存矣

本島此ノ如キ絶海ニ此五セル最南タル若島ニ過ギザレバ後
未人ノ顧ルモノナリ、全ク放棄シ有之矣、然ルニ松儀鬱陵島往復
ノ途次偶本島ニ寄泊シ海驢、棲息スル一夥シキヲ見テ空
リテ放棄シ置クノ如何ニ遺憾ニ堪ヘザル、尙未種々苦慮
計畫シ弥明治三十六年ニ至リ断然意ヲ決シテ資本ヲ
投シ漢舎ヲ構エ工夫ヲ多シ獵具ヲ備エテ先ヅ海驢獵ニ着
手致シ矣、當時世人ハ無謀ナリトシテ大ニ嘲笑セシガ固ヨリ絶海
不便、無人島ニ新規ノ事業ヲ企テ矣、コトナレバ計畫艱

語レ設備當ツ失ル所アルヲ免ズ、刺、獵方製法明カナラ
ズ用途貽路示テ確カナラズ空シリ、許多ノ資本ヲ失テ迄ニ種
々ノ辛酸ヲ嘗メ候結果本年ニ至リ獵方製法共ニ奏明ス
ル所アリ、販路モ亦タ之ヲ開キ得タリ而シテ皮ハ塩漬ニ其牛皮代用
トシテ用途頗ル多ク新鮮ナル脂肪ヲ採取セル油ハ品質賈格
共ニ鯨油ニ劣ラズ其粕ハ十分ニ絞レバ以テ膠ノ原料ト爲シ得
ル、内ニ杉製炭ニ骨ト共ニ貴重ノ肥料、タルト考テモ確カノ得
矣、即チ本島海驢獵ノ見込ハ略相立テ矣、而シテ海驢獵ノ
外本島ニ於テ起スヘキ事業陸産ニ到レ底望ナリ、海産ニ至リテハ未
ク調査ヲ經ザルヲ以テ今日確言シ難キモ日本海中ノ要衝
ニ當レル本島附近ニ種々ノ水族未集棲息セザル筈ナレバ
本島ノ海驢漢業ニシテ永續スルヲ得バ、抑テ以テ試漢
探査ノ便宜ト機會トヲ得テ將來更ニ有利有望ノ事業

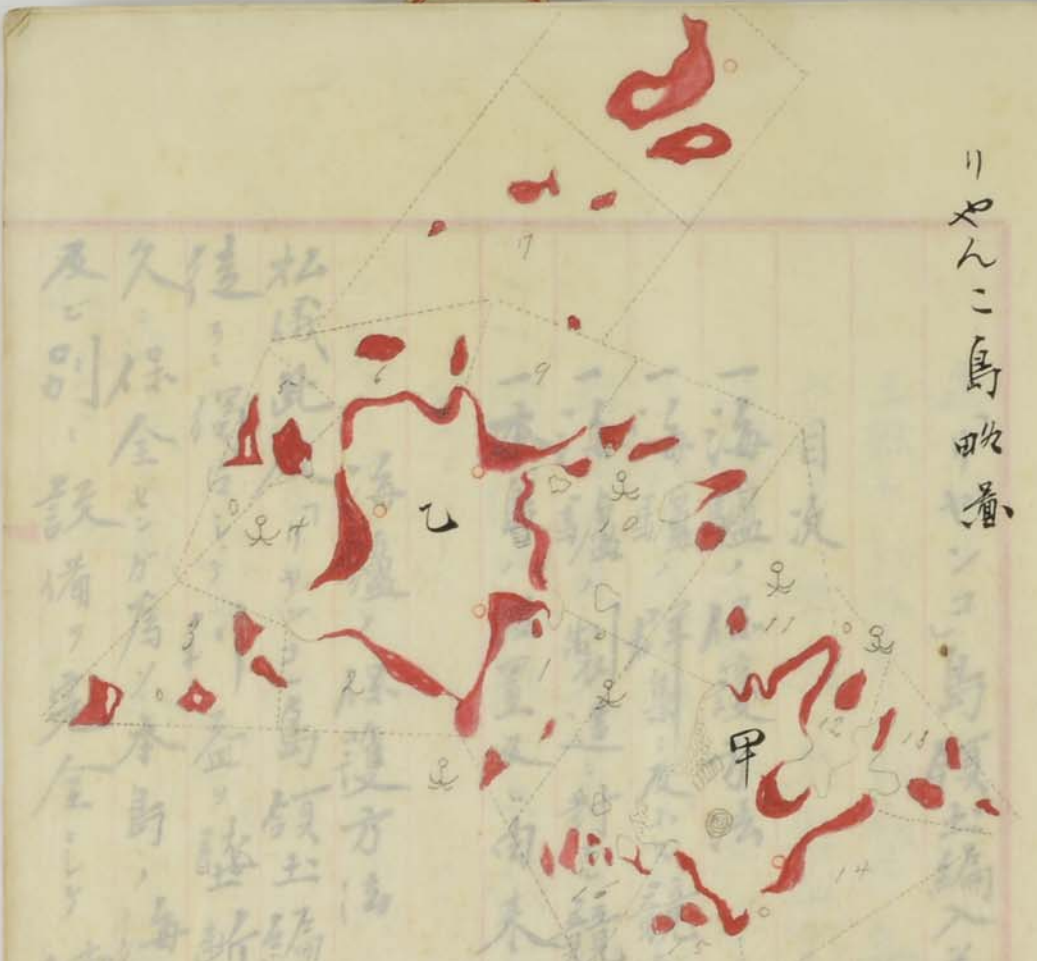
所^レ如キハ^{アラント}欲スル^レ前陳ノ如キ危険ナルガ為メ、領控罷在矣
 此、如キハ^レ帝^ニ私儀一己ノ災厄ノミナラズ又タ國家ノ不利益
 被^レ存矣就^テハ事業ノ安全利益ノ永久ヲ確保シ以テ本
 島ノ經營ヲ^レ終^ラ全^クフセシメラレンガ為メ、何卒速カニ本島ノ本
 邦ノ領土ニ^レ編入相成リ且ツ其レト同時ニ向^テ十ヶ年間私
 儀^ニ御^ス成度別紙^ニ面^ニ相^シ添^フ此^レ段奉^ル願^ス矣也
 明治三十七年九月二十九日

島根縣周吉郡 西郷町大字西所字指向

中井養三郎

内務大臣 子爵 芳川 顯正 殿
 外務大臣 田島 小村 封太郎 殿
 農商務大臣 男爵 清浦 佐吉 殿

リヤんニ島吹着



方位

位置
 東經百三十一度五十五分
 北緯三十七度十五分

- 凡例
- 海鹽生殖場
 - 漁舍
 - 瀦水
 - 滴水
 - 礫石
 - 澳舟碇泊場
 - 大生殖場

此島嶼係島根縣西郷町大字西所字指向に在り、其の位置は東經百三十一度五十五分、北緯三十七度十五分なり。